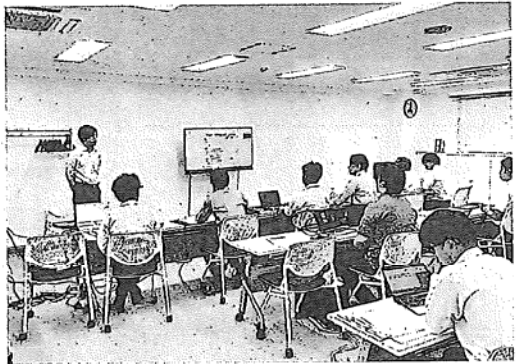


総合の部最優秀に八木恒憲さん

建協 九州支部 若手技術者交流会開く



建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は30日、博多区博多駅東の支部内で令和6年度若手技術者交流会Ⅱ写

真Ⅱをオンライン方式で開催した。21歳から31歳までの若手技術者13人が、担当業務等について発表。審査の結果、総合の部最優秀賞に八千代エンジニアリングの八木恒憲さん、発表の部最優秀賞に長大の中島賢哉さん、論文の部最優秀賞に東京建設コンサルタントの北村圭太さんを選んだ。交流会は、建設コンサルタント業界を担っていく若手社員たちの人的ネットワーク拡充やコンサルタントとしての自覚・意識を高め、会社の

壁を超えた技術者交流を深めるため、平成22年度から実施しているもの。今回は台風10号接近の影響でオンライン開催となり、発表者含む約80人が聴講した。

同支部総務・企画部会の眞間修一部会長は開会の辞で、「他社の同世代技術者と関わり、仕事の価値を再認識し、課題を見つめる機会になるだろう。今日の発表が皆さんの技術力向上やモチベーションにつながるればと思う」とあいさつした。

続いて13人の若手技術者が、それぞれ担当した業務の経験を基に、工法選定や各種調査検討、実施結果、今後の課題、感想などについて発表した。発表会の審査結果は次の通り。（敬称略）

〔総合の部〕
▽最優秀Ⅱ八木恒憲（八千代エンジニアリング）「観光・レクリエーション施設のリニューアル基本構想策定に係るプロセス紹介」
〔発表の部〕
▽最優秀Ⅱ中島賢哉

（長大）「吊橋のアンカレインジに位置する橋脚の耐震補強設計」

▽優秀Ⅱ錦川龍希（日本工営）「災害査定プロセスのDX化の推進・検討」
「働き方と早期復旧を授けるDXについて」
「徳吉泰翔（大日本ダイヤコンサルタント）
「PC方杖ラーメン橋の支承部に対する耐震補強対策」、土佐侑子（復建調査設計）「地域公共交通計画策定支援における施策に結び付く現況分析」

〔論文の部〕
▽最優秀Ⅱ北村圭太（東京建設コンサルタント）「筑後川における洪水予測の高度化について」

▽優秀Ⅱ釘宮斗弥（協同エンジニアリング）「橋梁定期点検における点検支援技術の活用について」
「山本乾雄（総合技術コンサルタント）
「曲線橋の影響による負反力を解消するため支点をアウトリカ形式とした鋼単純桁橋の詳細設計」